

公表資料

平成27年8月25日

まちづくり協働課

健康づくり支援課

【北茨城市甲状腺超音波検査事業の実施結果について】

北茨城市では、平成25・26年度の2年間で「甲状腺超音波検査事業」を実施いたしました。（事業費：37,173千円）

対象者は、福島第一原子力発電所の事故当時、0歳から18歳までの市民であり、平成25年度は、そのうち0歳から4歳までのお子さんを対象に検査を実施、平成26年度は、それ以降のお子さん達の検査を実施いたしました。

今回、その検査結果について、専門家や医師を含む委員で構成された「北茨城市甲状腺超音波検査事業検討協議会」より、

- ① 検査は「スクリーニング検査」であり、通常健康診断と同様、一定の頻度で「要精密検査」、「がん」と診断される方がいらっしゃることに
- ② 平成26年度の精密検査の結果、3名が甲状腺がんと診断されたことに
- ③ この甲状腺がんの原因については、放射線の影響は考えにくいことなどの報告がありました。

平成25年・26年度 甲状腺超音波検査実績

年度	生年月日	事故当時年齢	対象者数	受診者数	実施割合	受診者性別		結果（判定）							
						男	女	A1 （異常なし）		A2 （経過観察）		B （要精密検査）		C （至急要精密検査）	
								人	%	人	%	人	%	人	%
平成25年度	平成18年4月2日～平成23年4月1日	0歳～4歳	1,548	1,184	76.5%	590	594	774	65.4%	399	33.7%	11	0.9%	0	0.0%
平成26年度	平成4年4月2日～平成23年4月1日 ※うち0歳～4歳は昨年度未受診者	0歳～18歳	6,151	3,593	58.4%	1,811	1,782	1,746	48.6%	1,773	49.3%	72	2.0%	2	0.0%
合計			7,699	4,777	62.0%	2,401	2,376	2,520	52.8%	2,172	45.5%	83	1.7%	2	0.0%

※全ての受診者又はその保護者に対し、事前説明会により、放射線の影響、検査目的、検査方法、判定基準などの説明を実施しました。

要精密検査（B・C判定）となった方には、職員が個別訪問し、精密検査についての説明を行いました。

今後、2回目の検査を実施予定。実施時期は医師や専門家の意見も踏まえて検討します。